

キャッシュフローってなに？

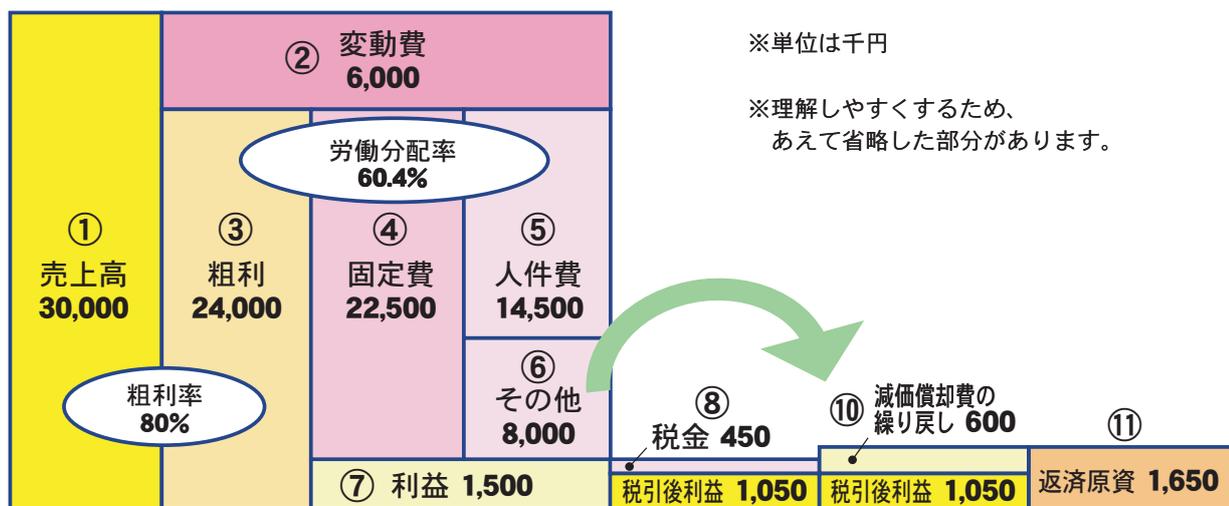
キャッシュフローってなに？ ～お金の流れの全体像をつかむ～

キャッシュフローとは「お金の流れ」のことを言います。

また、お金の流れに色をつけ、入りと出のバランスを考える経営の仕方をキャッシュフロー経営と呼んでいます。

ケーススタディ：ある歯科医院の年間収支構造

規模	収入	支出
ドクター1人 スタッフ3人 (DH 2、DA兼受付1) チェア3台	1日平均患者数：20人 患者平均単価：6,000円 (保険のみ) 1ヶ月の稼働日：20日 自費・物販収入：10万円/月	人件費：スタッフ20万円×3人 院長報酬730万円 (年) テナント家賃：25万円/月 水道光熱費：10万円/月 リース料：10万円/月 など



⑨ ※上図1～7まで西順一郎氏のSTRAC表を引用

※上記のお金の流れの全体図の番号に照らし合わせてご覧ください。

- ① まず売上高を確認します。売上は、保険収入、自費収入、物販などを含みます。
- ② 変動費は、材料費、外注技工料、商品原価などを言います。変動費は売上高の増減に比例して増減します。
- ③ 売上高から変動費を差し引いた分が粗利となります。また、売上高に対する粗利の割合のことを粗利率と言います。
- ④ 固定費とは、売上高の増減に関わらず変わらない費用のことを言います。家賃、リース代、水道高熱費、保険料、人件費などを含みます。固定費の中でも人件費の割合は半分以上を占めるので、「人件費」と「その他の固定費」の2つに分けて考えます。
- ⑤ 人件費には、スタッフの給料や賞与のほか、院長報酬も含めます。また、粗利のうち、労働に対してどれだけ分配しているかを示す指標を労働分配率（人件費÷粗利×100）と言います。労働分配率が低ければ低いほど、生産性が高い（少ない人件費で多くの粗利を生み出している）収支構造となります。
- ⑥ その他の固定費は、人件費以外の固定費をすべて含みます。
- ⑦ 粗利から固定費を引いたものを、利益と言います。
- ⑧ 利益のうち、1～4割程度を税金として納めます。（ただし、個人事業の場合、人件費に含めた院長報酬と利益をあわせた「所得」に対して、所得税がかかります。）
- ⑨ 利益から税金を引いた残りが税引後利益です。
- ⑩ その他の固定費に組み込まれていた減価償却費は、お金の支出を伴わない費用なので繰り戻します。
- ⑪ 税引後利益と減価償却費の繰り戻し分を合わせたものが、本業で得られるキャッシュフローです。借金がある場合、ここから返済をし、さらに残ったものが繰り越しできる資金となります。

2008年5月12日作成